

博士課程教育リーディングプログラム 平成23年度プログラム実施状況報告書

採 択 年 度	平成23年度		
プログラム名	超域イノベーション博士課程プログラム	申請大学長名	平野 俊夫
申請大学名	大阪大学	プログラム責任者名	東島 清
申 請 類 型	オールラウンド型	プログラムコーディネーター名	藤田 喜久雄

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

超域イノベーション博士課程プログラムでは、さまざまな専門領域、国境、既成観念、相場観といった「境域」を超えて社会システムの変革を導くイノベーション、すなわち、超域イノベーションを実現するための高度な専門力とそれを超域することによってさまざまな分野で活用するための汎用力に支えられた知的体力と勇気を持つグローバルリーダーとなる博士人材を養成することを目的とする。

大阪大学では、大学の使命は大学でしかできない基礎的学術研究と、大学でしかできない学問基盤を有した人材の育成である、という理念のもと、特に、教育の面では、将来各方面で指導的立場に立ち、人類の福祉と繁栄に寄与できる国際性豊かな優秀な人材を育て、世に送り出すことを大きな目標としている。そのもとに、本プログラムを、22世紀においても輝き続ける大阪大学の基盤の一つに位置付けて、強力に推進する。

2. プログラムの進捗状況

- ・実施体制については、プログラム履修生の進級や修了についての規程、奨励金制度についての要項などを整備するとともに、プログラムの運営やコースワーク実施のためのスペースについても、4月からの授業開始に必要な部分(アクティブラーニング型教室を含む)を確保した。
- ・優秀な学生の確保については、人材評価指標となる「超域コンパス」の開発と並行して、説明会やホームページ等による入試広報を展開し、2月末の時点で、約2,200名の大学院入学予定者の中から106名の応募を得て、3月末までに、書類審査・1次選抜(面接)・2次選抜(小論文・グループディスカッション・口頭試問・創作ワークショップ・最終面接からなる2泊3日の合宿形式)の3段階方式による選抜を実施し、20名の履修生を選抜した。
- ・コースワークについては、採択時の留意事項等を踏まえつつ、細部の設計を見直して、上記の規程に反映するとともに、平成24年度の授業の実施に向けて、1年分の授業内容を確定させた。あわせて、特徴ある授業科目の開発に向けて、例えば、汎用力の鍵となるトランスフェラブルスキルや国際性涵養に向けた海外インターンシップなどについての派遣調査を実施するなどして、プログラム開発のための基礎固めを行った。
- ・4月からの履修生の受け入れに向けて、チューター制度やメンター制度についての制度設計を行い、その具体化に着手した。